

登録コード	T1029400	開講年度	2026						
授業科目	卒業研究(物化)(16T以降)							担当教員	錦織 広昌 他
英文授業名	Graduation Thesis							副担当	萩尾 健史
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期			対象学生	物質化学科4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	該当								
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】			
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ								
	【22T～】専門的学力を基礎とし,的確な情報を収集・理解し,これを他の人に発信できる能力が身についている。					これまでに学んだ専門的知識を基礎として,必要な情報を的確に収集・理解しながら卒業研究を実施し,成果を,適切な考察を加えた研究報告,卒業論文等として他者に発信することができるようになる。			
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。					卒業研究を通して,様々な課題を見つけ,その解決に取り組むことができるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	指導教員と相談して,卒業研究の課題を決定する。この課題に関して,研究(研究背景の調査,研究目的・研究計画の具体化,実験,解析,考察など)を実施する。研究の実施に当たっては,適宜,指導教員と相談し指導を受ける。また,研究室ゼミ等で定期的にプレゼンテーションをして指導教員,他の学生と議論する。研究成果をまとめ,発表を行うとともに,卒業論文を作成し,提出する。								
(5)授業計画	1.指導教員との面談の上で研究課題を決定 2.研究計画の企画・立案 3.研究の実施 4.指導教員との研究打合せ 5.研究室等での研究報告会 6.卒業研究発表 7.卒業論文の作成と提出								
(6)成績評価の方法	研究の過程,研究成果,卒業研究発表会の内容等を総合的に評価する。 (秀:90点以上～100点,優:80点以上～89点,良:70点以上～79点,可:60点以上～69点,不可:60点未満)								
(7)成績評価の基準	課題に取り組み,卒業論文にまとめられ,他者に対してそれが説明できるかどうかを評価する。 ・特に優れた研究貢献のあった者を「秀(卓越している)」, ・工学士として十分な成果があった者を「優(かなり上にある)」, ・工学士にたる成果があった者を「良(やや上にある)」, ・十分ではないが,成果が認められる者を「可(水準にある)」とする。								
(8)事前事後学習の内容	研究室または自宅で十分な事前事後学習を行い,研究に臨むこと。								
(9)履修上の注意	卒業研究を課された者のみ履修できる。卒業研究が課される条件については,学科ガイダンス,入学年度の学生便覧や学習の手引きを参照のこと。								
(10)質問,相談への対応	指導教員が対応する。 指導教員が対応できない場合は,他の教員(学務委員,学科長等)に相談すること。								
(11)その他									
【教科書】	指導教員に問い合わせること。								
【参考書】	指導教員に問い合わせること。								